

令和3年度 岐阜各務野高等学校
第1回 学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜各務野高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年5月26日(水) 13:45～15:15
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 伊藤 浩 | 元各務原区長 |
| 副会長 | 臼井 俊裕 | 元岐阜各務野高校長 |
| 委員 | 野島 栄子 | 子苑第二幼稚園長 |
| | 服部 憲浩 | 各務原市産業活力部農政課長 |
| | 林 克幸 | サン・ビジョンジョイフル各務原施設長 |
| | 中川 信行 | PTA会長 |
| | 山田三恵子 | PTA副会長 |
-
- | | | |
|-----|-------|---------|
| 学校側 | 乙津真由美 | 校長 |
| | 野々村 健 | 教頭 |
| | 加藤 覚 | 教頭 |
| | 清水 尚 | 事務長 |
| | 鈴木 雅雄 | 教務主任 |
| | 洞口 哲二 | 生徒指導主事 |
| | 松本 正樹 | 進路指導主事 |
| | 久保 利光 | ビジネス科主任 |
| | 後藤 誠司 | 情報科主任 |
| | 小又 友樹 | 福祉科主任 |
| | 久野 恵里 | 記録係 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校教育経営計画(高等学校版マニフェスト)について

意見1: 各科の重点方策に基づき、目標達成のため、取組を遂行するものを期待する。

意見2: いじめなどについて、生徒や保護者が相談をしやすい環境づくりや相談先の情報提供をしてほしい。

意見4: 「情報モラル」「いじめ防止」など、保護者も講演会などを通して、その必要性を認識してもらい必要がある。PTA活動の中で今後検討してはどうか。

意見5: 生徒による卒業時アンケートの「本校に入学してよかった」の80%の評価指標はすべての方策に当てはまるものであり、幅広い取組を期待している。

(2) 学校運営組織図について

(3) その他

意見1：社会の急激な変化により、企業や大学の求める人材像も変化している中で、本校に期待する生徒像

- ・アンテナを高くして、社会の動向をキャッチできる生徒
- ・ニューノーマルに寛容になれる生徒
- ・答えのない問いに対して、答える力を養う生徒
- ・常に課題をもてる生徒
- ・「今は何、次は何」と目的意識をもてる生徒
- ・情報を鵜呑みにせず、現場、現物、現状を認識できる生徒
- ・「自分ならこうする」と自分の考えをもてる生徒
- ・自分の力を信じ、チャレンジできる生徒
- ・上も下も視野に入れられる生徒
- ・一人では生きていけないことを理解できる生徒
- ・将来の優良な納税者になる生徒

意見2：外部機関や企業など、さらなる横とのつながりを推進させてほしい。

意見3：教職員が生徒の手本となるよう、生徒に元気な姿を見せ、言葉遣いや服装等の身だしなみを整えることを大切にしてほしい。

意見4：超過勤務や部活動の指導の負担があるが、働き方改革を推進させながら、生徒と向き合う時間を増やしてほしい。

意見5：いじめ防止について、重点課題としているなら、令和2年度のいじめ発生状況等の資料を提示するとよい。

意見6：地域社会との連携を図るような行事や、地域住民の意見や要望が令和2年度にあったならば、資料として提示してほしい。

意見7：「いじめ問題」に学校としてしっかり取り組む姿勢を強く感じることができた。社会の中でも「ハラスメント」について、会社や法人単位でも取り組む必要性があり、「相手を尊重する」ことについては、社会全体で考える時代である。そのような背景の中で、生徒は人格形成がなされる。生徒にとっては今後さらに人との関係づくりが必要であり、高等学校教育の継続的な取組を期待している。

意見8：学校教育目標に掲げている「学習や部活動を通して、生涯にわたり健康で明るく豊かな生活が送れるよう心身の健全な発達に努める」とあるが、部活動において顧問の先生をはじめ、携わる先生方は平日、土曜日、日曜日と常に生徒のために個人の時間を割いて、情熱的献身的に指導を行っており、目標以上の取組がなされていると感じている。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針等について承認が得られた。
- ・意見の中で、地域が求める本校の願いや期待、生徒像の具体例について多くの意見が得られた。今後、三つの方針（スクール・ポリシー）の策定に向けて、これらの意見を取り入れながら、本校ならではのスクール・ポリシーを第2回学校運営協議会に提出し、検討を行う。